

令和 8 年度

三浦市下水道施設耐水化計画策定業務委託

業務委託設計書

上下水道部下水道課

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 08
事 業 所 名	三浦市
(工 事 ・ 業 務) 名	令和8年度 三浦市下水道施設耐水化計画策定業務委託
(工 事 ・ 業 務) 箇所	三浦市内
(河川・路線・区域)名	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	対象施設 N=2施設
(起 工 ・ 変 更) 理由	

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)						
<支出科目>						
款						
項						
目						
目の細目						
節						
<合併区分情報>						
合併処理設定	しない					
	区 分 1					
	区 分 2					
	区 分 3					
	区 分 4					
	区 分 5					
	区 分 6					
	区 分 7					
	区 分 8					
	区 分 9					
<全体金額情報>						
	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1) 前回変更請負額(b2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d)=(b1)/(a)×(c)	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
業務費						
業務価格						
消費税等相当額						

令和 08 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当初)					
経費等情報	レ	設計業務	委託先／ α 、 β	建設コンサルタント／ $\alpha=35\%$ 、 $\beta=35\%$	
			電子成果品作成費	計上する(概略・予備・詳細設計)	
			旅費交通費	計上する(設計)	
			安全費率	0.0%	
		測量業務	安全費率		
			電子成果品作成費		
			旅費交通費		
		地質・土質調査業務	電子成果品作成費		
			施工管理費		
			旅費交通費		
			安全費率		
		地質・土質調査業務(解析)	委託先／ α 、 β		
		業務委託	諸経費率		
			技術経費率		
設計業務等標準積算基準書 適用年版			令和08年7月1日適用		
資材等単価表 適用年版			令和8年7月1日基準		
積算数量等情報	名称		採用数量	単位	備考
(その他情報欄)					

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
設計業務							
下水道業務費							
			1	式			
下水道基本計画策定							
			1	式			
公共下水道全体計画							
			1	式			第 1001 号 内訳書
旅費交通費(率計上分)							
			1	式			
電子成果品作成費(率計上分)							
			1	式			
直接原価計							
			1	式			
その他原価							
			1	式			
一般管理費等							
			1	式			
設計業務価格							
			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			
業務委託料							
			1	式			

第1001号 内訳書
公共下水道全体計画

1 式

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) 基礎調査		式			第1001号下内
	1				
(AMA0020) 対策浸水深の設定		式			第1002号下内
	1				
(AMA0030) 浸水被害の想定		式			第1003号下内
	1				
(AMA0040) 対策方針の検討		式			第1004号下内
	1				
(AMA0050) 浸水対策の検討		式			第1005号下内
	1				
(AMA0060) 耐水化計画の策定		式			第1006号下内
	1				
(AMA0070) 照査		式			第1007号下内
	1				
(AMA0080) 報告書作成		式			第1008号下内
	1				
(AMA0090) 設計協議		式			第1009号下内
	1				
合 計					

第1001号 下位内訳書
AMA0010 基礎調査

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 資料収集整理		式			第1001号単価表
	1				
(SJ0020) 対策施設の状況把握		式			第1002号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1002号 下位内訳書
AMA0020 対策浸水深の設定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0030) 対策浸水深の設定		式			第1003号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1003号 下位内訳書
AMA0030 浸水被害の想定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 浸水範囲の確認		式			第1004号単価表
	1				
(SJ0050) 侵入経路の整理		式			第1005号単価表
	1				
(SJ0060) 停止機能の確認		式			第1006号単価表
	1				
(SJ0070) 浸水想定図の作成		式			第1007号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1004号 下位内訳書
AMA0040 対策方針の検討

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0080) 段階的対策目標の設定		式			第1008号単価表
	1				
(SJ0090) 重点化区画の抽出		式			第1009号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1005号 下位内訳書
AMA0050 浸水対策の検討

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0100) ハード対策の検討		式			第1010号単価表
	1				
(SJ0110) ソフト対策の検討		式			第1011号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1006号 下位内訳書
AMA0060 耐水化計画の策定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0120) 耐水化計画の策定		式			第1012号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1007号 下位内訳書
AMA0070 照査

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0130) 照査		式			第1013号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1008号 下位内訳書
AMA0080 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0140) 報告書作成		式			第1014号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1009号 下位内訳書
AMA0090 設計協議

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0150) 設計協議		式			第1015号単価表
	1				
合 計					
		式			円／式
	1				

第1001号 単価表
SJ0010 資料収集整理

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師 (A)		人			
	2				
(R0404) 技師 (B)		人			
	2				
(R0405) 技師 (C)		人			
	2				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1002号 単価表
SJ0020 対策施設の状況把握

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師 (A)		人			
	3				
(R0404) 技師 (B)		人			
	3				
(R0405) 技師 (C)		人			
	2				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1003号 単価表
SJ0030 対策浸水深の設定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	0.5				
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師 (A)		人			
	2				
(R0404) 技師 (B)		人			
	2				
(R0405) 技師 (C)		人			
	1				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1004号 単価表
SJ0040 浸水範囲の確認

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	0.5				
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師 (A)		人			
	2				
(R0404) 技師 (B)		人			
	3				
(R0405) 技師 (C)		人			
	3				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1005号 単価表
SJ0050 侵入経路の整理

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	1.5				
(R0403) 技師 (A)		人			
	1.5				
(R0404) 技師 (B)		人			
	2				
(R0405) 技師 (C)		人			
	3				
(R0406) 技術員		人			
	3				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1006号 単価表
SJ0060 停止機能の確認

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	0.5				
(R0402) 主任技師		人			
	1				
(R0403) 技師 (A)		人			
	3				
(R0404) 技師 (B)		人			
	2				
(R0405) 技師 (C)		人			
	2				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1007号 単価表
SJ0070 浸水想定図の作成

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	2				
(R0403) 技師 (A)		人			
	3				
(R0404) 技師 (B)		人			
	4				
(R0405) 技師 (C)		人			
	6				
(R0406) 技術員		人			
	6				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1008号 単価表
SJ0080 段階的対策目標の設定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	1.5				
(R0402) 主任技師		人			
	2				
(R0403) 技師 (A)		人			
	2.5				
(R0404) 技師 (B)		人			
	1				
(R0405) 技師 (C)		人			
	0.5				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1009号 単価表
 SJ0090 重点化区画の抽出

1 式 当り
 適用年版 T0807
 (上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	1				
(R0402) 主任技師		人			
	3				
(R0403) 技師 (A)		人			
	3				
(R0404) 技師 (B)		人			
	4				
(R0405) 技師 (C)		人			
	1				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1010号 単価表
SJ0100 ハード対策の検討

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	1				
(R0402) 主任技師		人			
	2				
(R0403) 技師 (A)		人			
	4				
(R0404) 技師 (B)		人			
	5				
(R0405) 技師 (C)		人			
	4				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1011号 単価表
SJ0110 ソフト対策の検討

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	1				
(R0402) 主任技師		人			
	2				
(R0403) 技師 (A)		人			
	3				
(R0404) 技師 (B)		人			
	4				
(R0405) 技師 (C)		人			
	3				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1012号 単価表
SJ0120 耐水化計画の策定

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	1				
(R0402) 主任技師		人			
	4				
(R0403) 技師（A）		人			
	6				
(R0404) 技師（B）		人			
	5				
(R0405) 技師（C）		人			
	1				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1013号 単価表
SJ0130 照査

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0401) 理事・技師長		人			
	3				
(R0402) 主任技師		人			
	3				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1014号 単価表
SJ0140 報告書作成

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	0.5				
(R0403) 技師 (A)		人			
	2				
(R0404) 技師 (B)		人			
	4				
(R0405) 技師 (C)		人			
	4				
(R0406) 技術員		人			
	2				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

第1015号 単価表
SJ0150 設計協議

1 式 当り
適用年版 T0807
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0402) 主任技師		人			
	5				
(R0403) 技師 (A)		人			
	5				
(R0404) 技師 (B)		人			
	3				
合 計					
		式			整数止め切捨て 円／式
	1				

設計業務委託

令和8年度 三浦市下水道施設耐水化計画策定業務委託

	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員
(1) 基礎調査	-	-	-	-	-	-	-
1) 資料収集整理	-	-	1.0	2.0	2.0	2.0	-
2) 対象施設の状況把握	-	-	1.0	3.0	3.0	2.0	-
(2) 対策浸水深の設定	-	0.5	1.0	2.0	2.0	1.0	-
(3) 浸水被害の想定	-	-	-	-	-	-	-
1) 浸水範囲の確認	-	0.5	1.0	2.0	3.0	3.0	-
2) 侵入経路の整理	-	-	1.5	1.5	2.0	3.0	3.0
3) 停止機能の確認	-	0.5	1.0	3.0	2.0	2.0	-
4) 浸水想定図の作成	-	-	2.0	3.0	4.0	6.0	6.0
(4) 対策方針の検討	-	-	-	-	-	-	-
1) 段階的対策目標の設定	-	1.5	2.0	2.5	1.0	0.5	-
2) 重点化区画の抽出	-	1.0	3.0	3.0	4.0	1.0	-
(5) 浸水対策の検討	-	-	-	-	-	-	-
1) ハード対策の検討	-	1.0	2.0	4.0	5.0	4.0	-
2) ソフト対策の検討	-	1.0	2.0	3.0	4.0	3.0	-
(6) 耐水化計画の策定	-	1.0	4.0	6.0	5.0	1.0	-
(7) 照査	-	3.0	3.0	-	-	-	-
(8) 報告書作成	-	-	0.5	2.0	4.0	4.0	2.0
(9) 設計協議	-	-	-	-	-	-	-
1) 第1回打合せ	-	-	1.0	1.0	-	-	-
2) 中間打合せ(3回)	-	-	3.0	3.0	3.0	-	-
3) 最終打合せ	-	-	1.0	1.0	-	-	-
計	0.0	10.0	30.0	42.0	44.0	32.5	11.0

令和8年度 三浦市下水道施設耐水化計画策定業務委託仕様書

1. 目的

近年、全国各地で豪雨等による水害が頻発し、甚大な被害が発生している。「令和元年東日本台風」や「令和2年7月豪雨」では、河川からの氾濫や内水氾濫の発生により下水道施設が浸水し、市民生活に多大な影響を与えることになった。

本業務は、発災時においても下水道施設の処理機能を維持するため、水害による施設の対策浸水深を設定し、耐水化のためのハード・ソフト対策を立案することを目的とする。

2. 業務の対象

本業務の対象は以下のとおりとする。

- 1 対象災害:津波、高潮
- 2 対象施設:表1のとおり

表1 業務対象施設

種別	施設名	施設諸元
処理場	東部浄化センター	位置:三浦市南下浦町金田 2736 番地 5 処理方式:汚水 標準活性汚泥法 汚泥 濃縮→脱水 能力:現有 8,050m ³ /日(日最大、1.5 系列分) (全体計画 14,700m ³ /日)
ポンプ場	金田中継センター	位置:三浦市南下浦町金田 206 番地 8 能力:現有 0.098m ³ /秒(5.9m ³ /分、時間最大) (全体計画 11.8m ³ /分)

3. 業務の条件

- 1 本業務は、令和2年5月21日通知「国水下事第13号下水道の施設浸水対策の推進について」に基づき検討を行う。
- 2 本業務は、「気候変動を踏まえた都市浸水対策に関する検討会」(国土交通省。以下「検討会」という。)で示される最新の動向を踏まえ検討を行う。
- 3 構造物の水圧に対する耐力照査は別途業務とする。
- 4 浸水想定区域図がない場合の簡易シミュレーション等は別途業務とする。

4. 業務の内容

4.1 基礎調査

4.1.1 資料収集整理

本業務の遂行に必要となる以下の資料を収集し整理する。

- ・計画図書関連(全体計画、事業計画)
- ・浸水想定区域図(国縣市公表資料)
- ・対象施設の竣工図関係図書(一般平面図、平面図、立面図、断面図)
- ・地盤高図(国土地理院基盤地図情報)
- ・過去の水害による被害実績
- ・下水道 BCP
- ・その他、業務に必要となる資料

(設備配置図、機器リスト、ストックマネジメント計画図書等)

上記資料のうち、発注者より提供可能な資料(計画図書関連、浸水想定区域図、竣工図関係図書、下水道 BCP 等)は、協議の上、発注者より貸与する。

4.1.2 対象施設の状況把握

対象施設の現地調査を行い、竣工図や設備配置図等を基に、以下について確認する。確認した結果は、収集した平面図、立面図、断面図を活用し、調査結果図として取りまとめる。

- ・浸水経路となる開口部の浸入開始高、開口寸法、開口種別等
- ・主要設備の配置と設置高さ
- ・作業員等の避難経路及び緊急避難場所の現状

4.2 対策浸水深の設定

各種水害における国縣市が公表する浸水想定区域図における想定浸水深を基に、下水道施設のハード対策(防災対策)及びソフト対策(減災対策)において目標とする浸水深(以下「対策浸水深」という。)を設定する。想定浸水深が対象施設の場所により大きく異なる場合は、場内建物別での対策浸水深の設定についても検討する。

4.3 浸水被害の想定

4.3.1 浸水範囲の確認

処理場及びポンプ場について、対策浸水深に対する施設の相対的な位置関係を整理し、平面図を基に各階における浸水範囲図を作成する。

4.3.2 浸入経路の整理

処理場及びポンプ場について、調査結果図を基に浸入経路となる開口部を整理し、立面図(無い場合は平面図もしくは断面図)を基に浸入経路位置図を作成する。

4.3.3 停止機能の確認

処理場及びポンプ場は主要な設備設置高さ対策浸水深を比較し、下水処理機能に対し施設別に停止が見込まれる機能を整理する。

4.3.4 被害想定図の作成

処理場及びポンプ場は、一般平面図を基に場内の棟屋ごとに機能を区分し、これに合わせ4.3.1～4.3.3の結果に基づく水害による機能停止状況を明確にした被害想定図を作成する。

4.4 対策方針の検討

4.4.1 段階的対策目標の設定

浸水被害の想定結果における各種機能の被害状況とその規模、下水処理における各種機能の優先順位を考慮し、短期、中期、長期におけるハード・ソフト対策の目標(耐水化を実現する機能)について設定する。

4.4.2 重点化区画の抽出

段階的な対策目標のうち、短期及び中期における目標達成のために耐水化すべき施設内の区画を選定し、浸水範囲図を基に重点化区画図を作成する。

4.5 浸水対策の検討

4.5.1 ハード対策(防災対策)の検討

重点化区画の耐水化に向けて実現可能な対策を検討する。効果的と考えられる対策(防護壁、覆蓋、止水板や防水扉による防水化、設備の高所移転や耐水化等)を検討し、施設や開口部別の対策内容について整理し、概算事業費を算出する。

4.5.2 ソフト対策(減災対策)の検討

ソフト対策における対策浸水深に対しては、既に策定されている下水道 BCP、団体の持つ水害に係る対策計画書等へ反映すべき事項(作業員の避難ルートや行動基準、発災後の緊急点検地点の抽出等)を整理する。また、下水道機能の早期復旧のための減災対策として、仮設ポンプ及び発動発電機やハンドラー等の備蓄規模等について検討する。

4.6 耐水化計画の策定

以上の検討結果に基づき、対象災害、対策浸水深、被害想定、対策方針、対策優先順位、ハード・ソフト対策の内容を耐水化計画として簡潔に取りまとめる。また、段階的対策目標及び対策優先順位に基づき、事業スケジュール、年度別概算事業費の算定、対策効果(耐水化機能とその規模)について取りまとめる。

4.7 照査

照査技術者は、作業項目における検討内容の妥当性及び提出図書について照査を行う。

4.8 報告書作成

上記検討をとりまとめた報告書及び概要書を作成する。

4.9 設計協議

設計協議は、着手時、中間 3 回、完了時の計 5 回の実施を原則とする。

4.10 第 5 条 提出図書

本業務の提出図書は以下のとおりとする。

- 1 報告書 A4 判 3 部
- 2 概要書 A4 判 3 部
- 3 参考資料 A4 判 3 部
- 4 議事録 A4 判 3 部
- 5 電子成果 CD 3 部